

岡山県倉敷市真備町の 災害の経験から「備える暮らし」を考える ここに避難 >> ここで生活

神原 咲子

神戸市看護大学 災害看護・国際看護学 教授

高知県立大学・特任教授

(一社) EpiNurse 代表理事

(一社) 日本災害看護学会 理事 防災学術連携体委員

3 すべての人に
健康と福祉を



5 ジェンダー平等を
実現しよう



11 住み続けられる
まちづくりを



これまでの活動



災害がおきたら必要なこと
自分と家族は . . .

- a. 災害から逃れる
- b. いのちと健康を守る
- c. 取り巻く生活環境の立て直す



支援者は

- 応急手当 &
- メンタルヘルスケア
- 食事・トイレ・お風呂などの確保





真備町の出身小学校が



健康課題は夜に集中

平成30年7月豪雨 倉敷市避難状況

倉敷市 指定緊急避難場所

洪水対応種別

- 対応
- 非対応

倉敷市 避難状況 7/6

倉敷市 避難状況 7/7

倉敷市 避難状況 7/8

倉敷市 避難状況 7/9

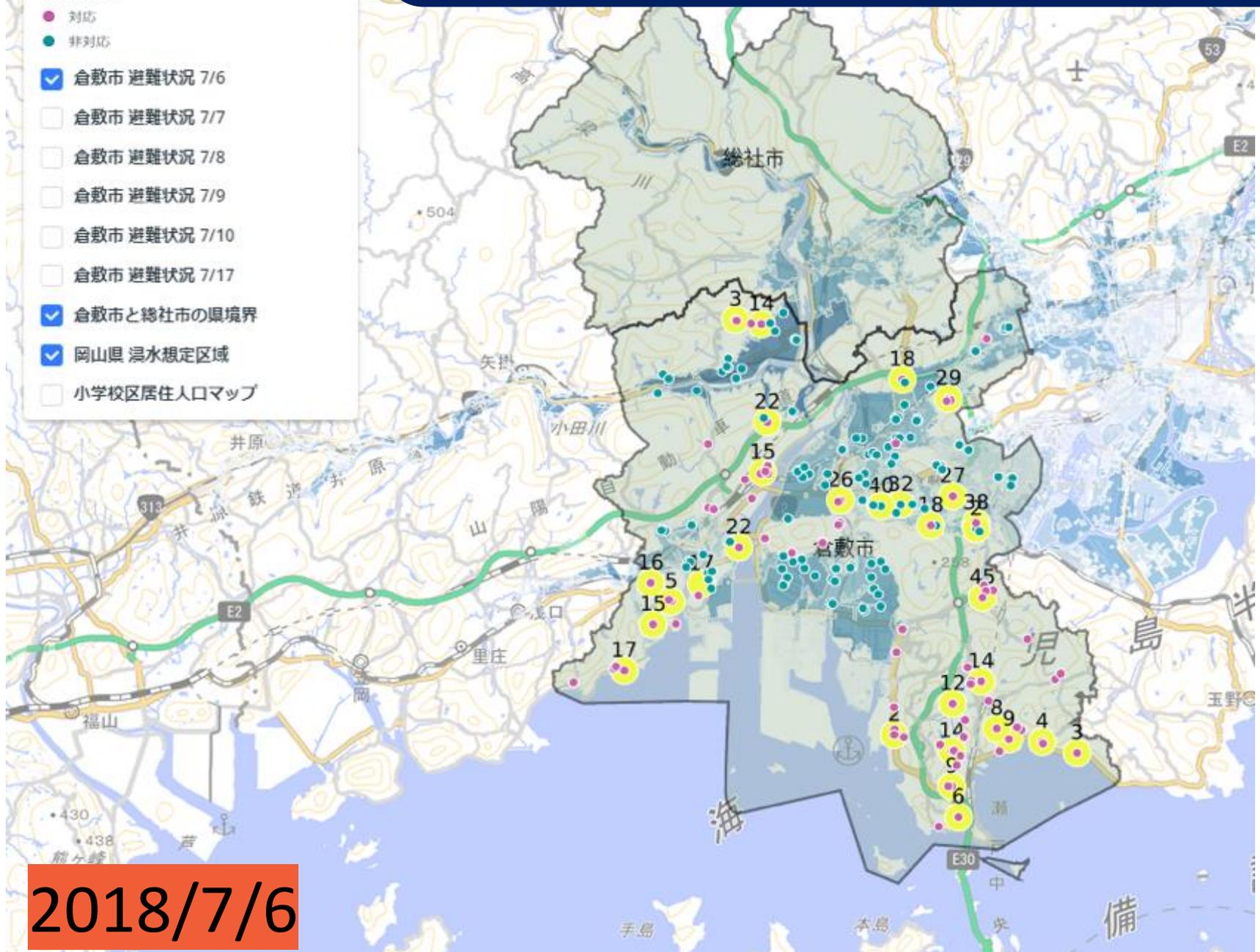
倉敷市 避難状況 7/10

倉敷市 避難状況 7/17

倉敷市と総社市の県境界

岡山県 浸水想定区域

小学校区居住人口マップ



2018/7/6

倉敷市 指定緊急避難場所

洪水対応種別

対応

非対応

倉敷市 避難状況 7/6

倉敷市 避難状況 7/7

倉敷市 避難状況 7/8

倉敷市 避難状況 7/9

倉敷市 避難状況 7/10

倉敷市 避難状況 7/17

倉敷市と総社市の県境界

岡山県 浸水想定区域

小学校区居住人口マップ



2018/7/7

人々は生活を求めて移動している

倉敷市 指定緊急避難場所

洪水対応種別

対応

非対応

倉敷市 避難状況 7/6

倉敷市 避難状況 7/7

倉敷市 避難状況 7/8

倉敷市 避難状況 7/9

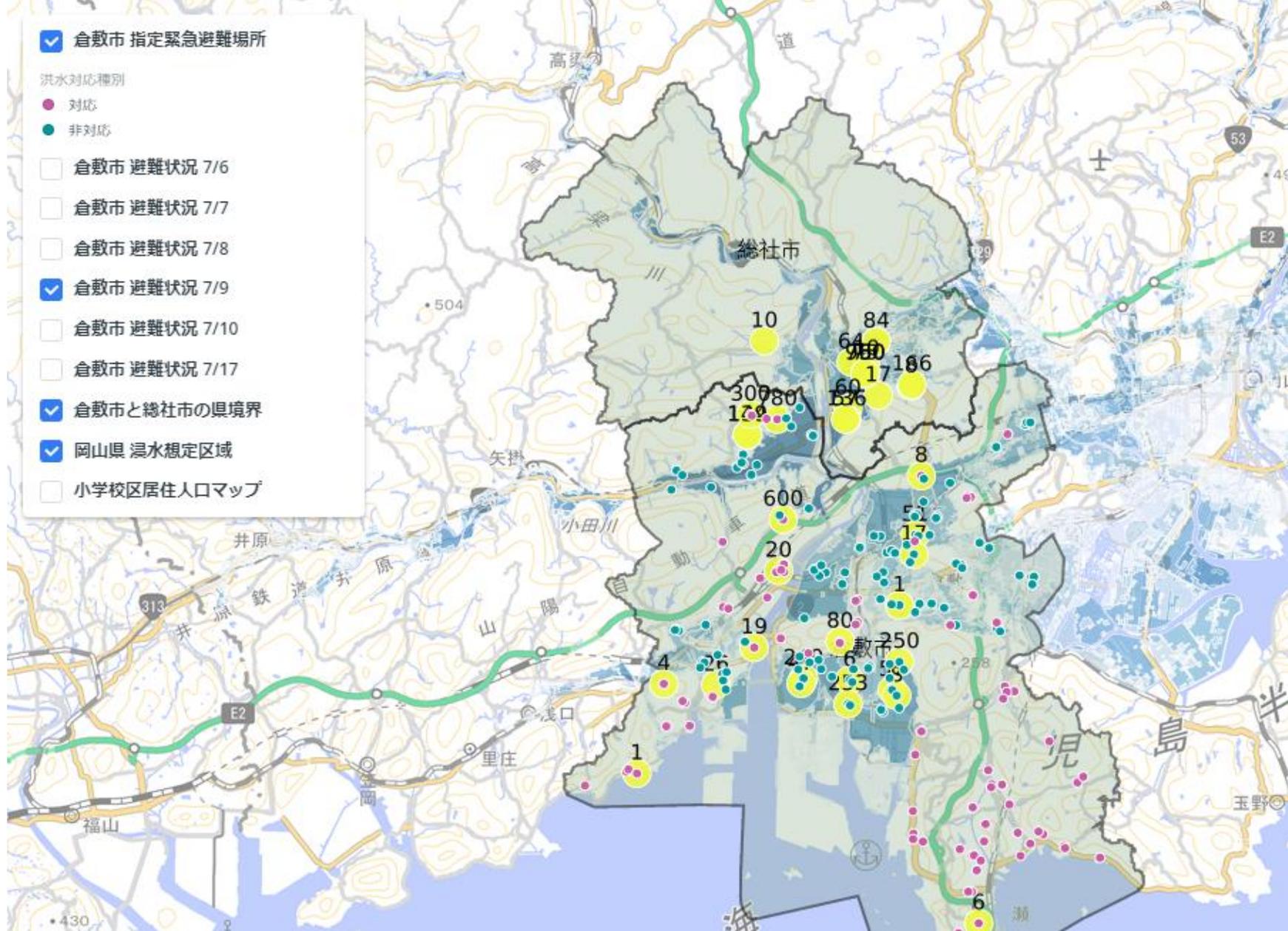
倉敷市 避難状況 7/10

倉敷市 避難状況 7/17

倉敷市と総社市の県境界

岡山県 洪水想定区域

小学校区居住人口マップ



2018/7/9

人は生活を求めて移動している

災害時の”Health”（人々の「健康状態」と居場所）

被災エリア全体

被災した人々の、情報共有、共通認識・意思決定のためのツールと場はどこだ？。

知りたい情報 ≠ 知りえる情報

被災者が身近に観察した災害状況（水位、浸水、決壊など）

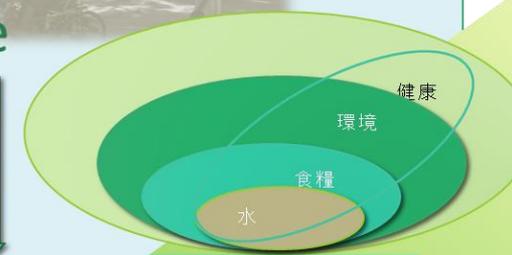
- ・通れる道路
- ・使えるトイレ・水道
- ・避難所の開設状況（場所、人数、空き状況）
- ・最寄りのコンビニ・薬局・オープン時間
- ・物資配布場所・お風呂
- ・帰宅困難者、孤立集落の発生状況



Care



準備



人間の安

環境

Cure

疾病予防

避難所・
救護班

救命・応急処置

支援団体の記録表

病院

治療

カルテ・
サーベイランス



Special Innovation Award in collaboration with Ash Center, HKS, Harvard

「まびケア」運営チーム

岡山県倉敷市

5. 防災・防犯

地域課題：災害対応力の強化

アイデア名：避難所情報充実と避難計画支援システム構築（これからのまびケア）

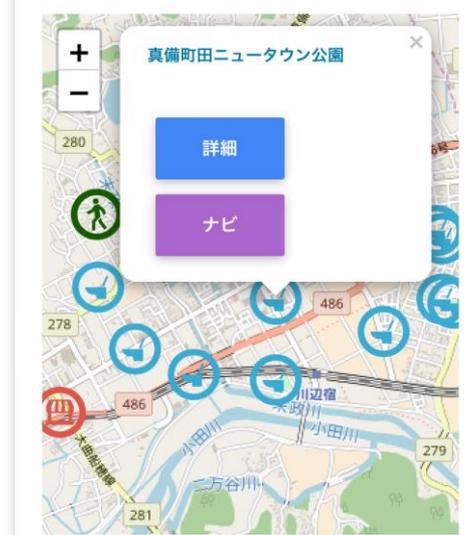
地図から探す

ツイート シェア

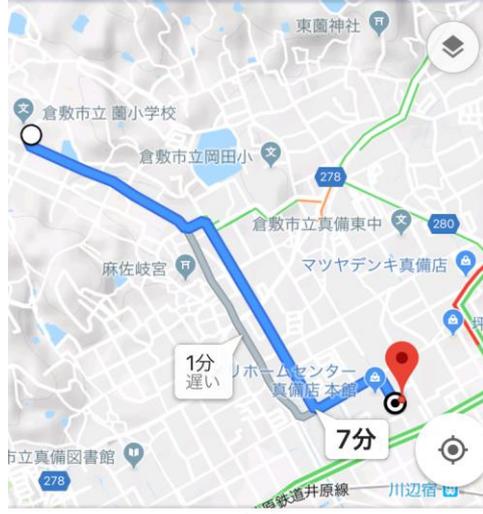


地図から探す

ツイート シェア



7分 31分



7分 (2.6km)

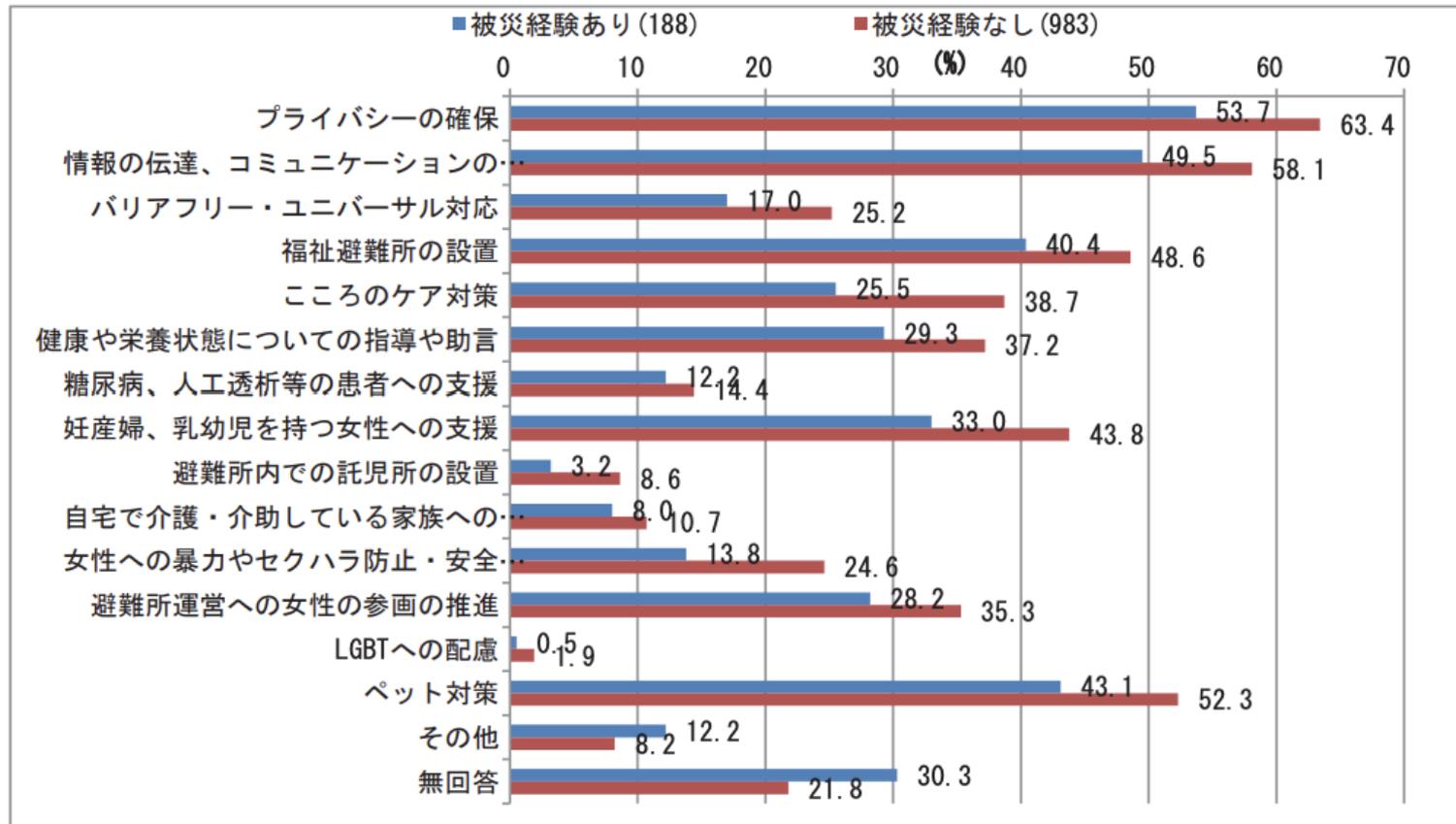
最速ルート

道順

ガイド

不慣れな土地で 健康な暮らしをするためのアクセス

図表 25 被災経験の有無別、避難所運営に関する手引き・マニュアルに記述がある市町村の比率



全国の自治体の避難所ガイドラインに掲載されてる割合

避難所は1か所だけではない

自分は今どのような状況か自分があんしんとおもう場所を予め考える

- 体調に応じた避難先を決めているかどうか
- 自分で避難先を用意できるか（親戚・知人宅，ホテル，車）
- 他者からの感染リスクの低い場所か
- 生活環境は劣悪にならないか
- 危険区域外への転居・退避も検討？
- （居住環境を変えることのリスクなども）

外部支援者が知ることのない 文化・社会・制度の中で



災害のトラウマ

- 高いところに登る
- 音に過敏になる
- 過呼吸・パニック
- 何度も手を洗う

いつもと違う 場所への不安

- 興奮
- 多動
- スキンシップ
を求める
- 質問を繰り返す
- 母乳を求める

生活リズム の崩れ

- 決まり事ができない
- 食欲低下
- 昼夜逆転

健康被害の 顕在化

- 喘息
- 暴力が出る
- 下痢が続く
- 体調不良
- 泣き叫ぶ



災害 >>> 社会的×潜在的 >> 複合的に顕在化

<要配慮者の課題>

具体的な課題

- ・誰に
- ・どのようなフェーズで
- ・どういう課題が……

- ・マイタイムライン
- ・Personal Plan
- ・
- ・
- ・

社会の意識
人々の意識
要配慮者の意識

<課題解決の方向性、可能性>

避難や避難生活を支援する人の再配分、確保、養成すれば……

災害時の生活の環境を改善できれば……

要配慮者に伝わる情報ツールを確保、開発すれば……

要配慮者へのコミュニケーションを工夫すれば……

要配慮者の暮らしや災害時のリクエストを知っておけば……

要配慮者と友達になっておけば……

災害時に要配慮者と医療をつなぐ仕組みを知る、つくっておけば……

環境

ツール

情報

コミュニケーション

介助者

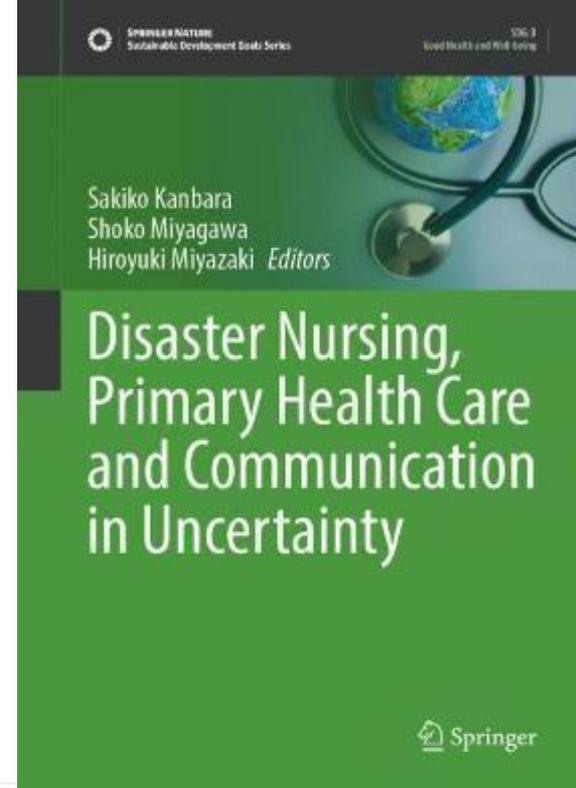
医療

保健

制度

仕組み

携わる人の立ち位置でソリューションは変わるし多様



みんなで避難を考える

地域連携型
要配慮者マイ・タイムライン
(個別避難計画)

～作成ヒント集～